

**プレアワード ④プロジェクト実施のための対外折衝・調整** **初級**

**業績指標**

以下の条件の実績と経験を有する。

**①責任性**  
 担当者として対応した。

**②複雑性**  
 以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 10%以上)。  
 1. 所属組織・研究者の意向を受けて、外部資金、プロジェクトの立ち上げなどに関する情報を整理し、学外の研究者・関係者に説明を行った。  
 2. 学内外の関係者の予定を調整し、訪問、又は、会議等を開催することによりプロジェクトへの参加交渉を行った。  
 3. 中級、上級 URA の補佐として、学外の関係者に相手先内部での検討、調整、作業等の依頼を行い、期日までに回答を得た。  
 4. 外部関係者からの問い合わせに対応し、必要に応じて執行部の方針等の確認を行った。  
 5. 中級、上級 URA の補佐として、学外の関係者との共同研究やプロジェクトへの参加に際して必要な NDA, MTA, 協力協定等の契約事項、方針決定までのスケジュール、研究成果や知財が生じた場合の扱いと予算配分等の確認を行った。  
 6. 学外の関係者とのプロジェクト実施等に基づき、必要な事務手続き等を学内関係者に引き継いだ。  
 7. プロジェクトの企画について、国、FA とのすり合わせ、調整に中級、上級 URA の補佐として参加した。

**③重要性**

**④学内外貢献**  
 以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。  
 1. 関係者からの質問に対して上司の指導を仰ぎながら適切な回答／助言を行った。  
 2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

**⑤その他**

**業務遂行能力指標**

以下の条件の能力を有する。

**①事業**  
 自己の業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけを理解している。

**②知識**  
 1. 外部資金申請の枠組みの流れ、公募情報源、外部資金による事業の背景(科学技術政策、省庁・総合科学技術会議等の審議会・委員会情報等)の初歩的な事項を理解している。  
 2. 公募要領等に記載される外部資金に関わる遵守すべき法律(例:補助金適正化法)、規則、契約内容等の初歩的な事項を理解している。  
 3. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス、科学者・生命倫理、安全衛生、利益相反など)の初歩的な事項を理解している。  
 4. 担当業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー)・学内手続き(情報提供・伝達方法等)を理解している。

### ③実務

- 1. プロジェクト実施のための対外折衝・調整活動に関する実務(例: 関連情報収集・整理, プロジェクトへの参画交渉・調整等)の初歩的な事項(例: 実務全体の 20~30%程度)を理解している。
- 2. 前記1. に関連する業務上の課題を発見し, 上司の指導の下でその課題を解決することができる。
- 3. 上司の指導の下で必要な資料作成を行うことができる。
- 4. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し, 期限内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。
- 5. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 上級・中級 URA や関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。

### ④語学

- 国際業務に関しては, 国際担当部署等の協力を得て, 業務の推進に必要な最低限の範囲で英文内容を理解でき, 相手先に伝えるべき情報等の翻訳を関係者等に依頼して作成することができる。

### ⑤対人

- 1. 関係者(例: 大学関係者, FA, 企業)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例: 規則, 取決め等)を理解することができる。
- 3. 関係者との間で信頼関係を確立し, 連携・協働できる。
- 4. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

### ⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

主担当として対応した。

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 30%以上)。

- 1. 所属組織・研究者の意向を受けて、外部資金、プロジェクトの立ち上げなどに関する情報を整理し、学外の研究者・関係者に説明を行った。
- 2. 学内外の関係者の予定を調整し、訪問、又は、会議等を開催することによりプロジェクトへの参加交渉を行った。
- 3. 学外の関係者に検討、調整、作業等の依頼を行い、期日までに回答を得た。
- 4. 外部関係者からの問い合わせに対応し、必要に応じて執行部の方針等の確認を行った。
- 5. 学外の関係者との共同研究やプロジェクトへの参加に際して必要な NDA, MTA, 協力協定等の契約事項、方針決定までのスケジュール、研究成果や知財が生じた場合の扱いと予算配分等の確認を行った。
- 6. 学外の関係者とのプロジェクト実施等に基づき、必要な事務手続き等を学内関係者に引き継いだ。
- 7. プロジェクトの企画について、国、FA とのすり合わせ、調整を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 外部との折衝活動の結果、関係者間の合意形成、対応方針の共有が円滑に進み、調整業務が短縮された。
- 2. 多くの関係者が関与する企画が建設的に進み、申請の質が向上した。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 後輩(例:レベル初級)に対する育成指導／助言を行った。
- 2. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 3. 関係大学、機関の URA 等と連携・協働し、学外ネットワーク構築に貢献した。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 自己の業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけ(政策、他大学動向の把握を含む)を理解し、他者(上司、関係部署、研究者等を含む)へ説明することができる。
- 2. 担当業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。

## ②知識

- 1. 外部資金申請の枠組みの流れ、公募情報源、外部資金による事業の背景(科学技術政策, 省庁・総合科学技術会議等の審議会・委員会情報等)を理解している。
- 2. 公募要領等に記載される外部資金に関わる遵守すべき法律(例:補助金適正化法), 規則, 契約内容などを理解している。
- 3. 特定分野の専門知識を有し, 研究プロジェクトに関わる科学技術の概要を理解している。又は, 調査し, 理解することができる。
- 4. プロジェクトに関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 社会の動向を概略理解している。又は, 調査し, 理解することができる。
- 5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス, 科学者・生命倫理, 安全衛生, 利益相反など)を理解している。
- 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供, 秘密保持, 知財保護, 個人情報保護(匿名化)など)を理解している。
- 7. 学外研究者を受け入れる際のスキーム, 規定, 契約事項等を理解している。

## ③実務

- 1. プロジェクト実施のための対外折衝・調整活動に関する実務(例:関連情報収集・整理, プロジェクトへの参画交渉・調整等)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 外部の機関との交渉, 調整等の作業の進め方などを理解している。
- 4. 外部の関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して資料作成や説明を行うことができ, 会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し, 期日内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。
- 6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 上級 URA や関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。

## ④語学

- 1. 国際業務に関しては, 国際担当部署等の協力を得て, 業務の推進に必要な英文内容を理解でき, 相手先に伝えるべき情報等の翻訳を関係者等に依頼して作成することができる。
- 2. 海外の担当者, 研究者等と英文メールのやり取りができる。

## ⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者, FA, 企業)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則, 取決め等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し, 対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

## ⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応した。

②複雑性

以下のいくつかのプロジェクト運営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する(結果への寄与度 50%以上)。

- 1. 所属組織・研究者の意向を受けて、外部資金、プロジェクトの立ち上げなどに関する情報を整理し、学外の研究者・関係者に説明を行った。
- 2. 学内外の関係者の予定を調整し、訪問、又は、会議等を開催することによりプロジェクトへの参加交渉を行った。
- 3. 学外の関係者に相手先内部での検討、調整、作業等の依頼を行い、期日までに回答を得た。
- 4. 外部関係者からの問い合わせに対応し、必要に応じて執行部の方針等の確認を行った。
- 5. 学外の関係者との共同研究やプロジェクトへの参加に際して必要な NDA, MTA, 協力協定等の契約事項、方針決定までのスケジュール、研究成果や知財が生じた場合の扱いと予算配分等の確認を行った。
- 6. 学外の関係者との間で必要な事務手続き等を、学内関係者に引き継いだ。
- 7. プロジェクトの企画について、国, FA, 研究者とのすり合わせ、調整を行うと共に、国, FA, 研究者にとって有益な意見を述べる事ができた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 外部との折衝活動の結果、関係者間の合意形成、対応方針の共有が円滑に進み、調整業務が短縮された。
- 2. 多くの関係者が関与する企画が建設的に進み、申請の質が向上した。
- 3. プロジェクトの実施に重要な局面で調整・交渉の成功に貢献した。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 後輩(例:レベル初級・中級)に対する育成指導／助言を行った。
- 2. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 3. 関係大学、機関の URA 等と連携・協働し、学外ネットワーク構築に貢献した。
- 4. 外部から講演や委員等の委嘱などを要請された。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 自己の所掌業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけ(政策, 他大学動向の把握を含む)を理解し、他者(上司, 関係部署, 研究者等を含む)へ説明することができる。
- 2. 所掌業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。
- 3. 所掌業務上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

## ②知識

- 1. 外部資金申請の枠組みの流れ、公募情報源、外部資金による事業の背景(科学技術政策、省庁・総合科学技術会議等の審議会・委員会情報等)を理解し、研究提案者に提示することができる。
- 2. 公募要領等に記載される外部資金に関わる遵守すべき法律(例:補助金適正化法)、規則、契約内容などを理解し、研究提案者に提示することができる。
- 3. 特定分野の専門知識を有し、研究プロジェクトに関わる科学技術の概要を理解している。又は、調査し、理解することができる。
- 4. プロジェクトに関連する大学、研究コミュニティ、産業界、社会の動向を概略理解している。又は、調査し、理解することができる。
- 5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス、科学者・生命倫理、安全衛生、利益相反など)を理解し、研究提案者に提示することができる。
- 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供、秘密保持、知財保護、個人情報保護(匿名化)など)を理解し、研究提案者に提示することができる。
- 7. 学外研究者を受け入れる際のスキーム、規定、契約事項等を理解し、研究提案者に提示することができる。
- 8. 学外研究者、他大学、企業など相手の立場、行動原理を理解し、研究提案者に提示することができる。

## ③実務

- 1. プロジェクト実施のための対外折衝・調整活動に関する実務(例:関連情報収集・整理、プロジェクトへの参画交渉・調整等)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 外部の機関長との交渉、調整等の作業の進め方などを理解している。
- 4. 外部の関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して資料作成や説明を行うことができ、会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し、期限内に業務を終わらせられるよう、内外関係者の協力を得ることができる。
- 6. 研究者、あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合、初級・中級 URA に指示して、主導的に対応することができる。
- 7. 参加を躊躇する学外研究者、他大学、企業等を説得し、相手側が納得して協力、参加などを取り付けることができる。

## ④語学

- 1. 国際業務に関しては、国際担当部署等の協力を得て、業務の推進に必要な英文内容を理解でき、相手先に伝えるべき情報等の翻訳を関係者等に依頼して作成することができる。
- 2. 海外の担当者、研究者等と英文メールや電話でのやり取りができる。

## ⑤対人

- 1. 関係者(例:執行部を含む大学関係者、FA、監督官庁、企業)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則、取決め等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て、連携し、協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し、対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。
- 6. 会議やワークショップ等において、積極的な参加やより良い議論のためのファシリテーションができる。

## ⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ、限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。